

教団新報

定 価 1部 140 円(本体 133 円+共 200 円)
予約購読料 1 年分 5,000 円
紙代のみ 3,500 円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内 藤 留 幸
編集主筆 竹 澤 知 代 志
印刷所 株式会社きかんし



大阪教会 (大阪教区・大阪西地区)

16: わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。
17: 福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

メッセージ

ローマの信徒への手紙 1 章 16 ～ 17 節

救いを得させる神の力



岡村 恒

福音を恥としない

「わたしは福音を恥としない」(16 節)という告白が響いています。そして、
「福音こそ、神の力だ」という力強い宣言が聞こえてきます。

「力」というのは、世の終わりの日に、全世界を握りしめて離さない「神の支配」のことです。私たち一

た。そこでは、キリストの福音は笑いとおぎけりの対象でした。パウロが語る福音は「愚かな言葉」だったからです。《全知全能の神のひとり子イエスが、一人の人間になって地上を歩み、十字架に磔にされて、私た

ちの身代わりに神の呪いを全部引き受けて死んで下さった。しかし死人の中から引き上げられたイエスは今も生きておられ、やがて世の終わりに再び来て下さる。こう語るたびに、笑われ、激しい迫害を受けま

した。振り返ると、主イエスが十字架に架けられた時、弟子たちは皆逃げ出して、主イエスとは無関係だと装いました。何年も主イエスと行動を共にして、数々の奇跡を目の当たりにし、繰り

返し同じ食卓についたあの弟子たち全員が主を捨て去りました。迫害の時代であろうとなかろうと、主イエスとの関係を否定することは、福音を恥とすることです。主イエスの裁判の場で、主イエ

スとの関係を恥としたベトロの姿に、代々のキリスト者は自分自身の姿を重ね合わせてきました。私たち自身も、神の言葉など聞いたことがなかったかのように生きてしまつてからです。

また、困難に遭つとすぐ信仰が揺さぶられて、福音を恥としまつてしまう愚かな姿をしています。しかし、私たちの福音を恥とする時でさえ、神の力は変わることはない、神の約束は微動を揺るがすことなく、福音を恥とすることです。主イエスの裁判の場で、主イエ

明らかにした神の真実

17 節に、「正しい者は信仰によって生きる」と記されています。私たちが、自身の信仰深さや、確信によって救われたり、生き延びたりするのではない、という強烈な宣言です。

当時の人々は「救い」という言葉を聞くと、しばしば「終末」を思い描きました。魂の奥底まで知り尽くしておられる神の前に立つ日のことを想像したので

す。誰一人として、神に赦され、受け入れられる者などありません。神の義が啓示されています。

「福音には、神の義が啓示されています。誰一人として、神に赦され、受け入れられる者などありません。神の義が啓示されています。」

若者の中から、私を含む 6 人が今、伝道者として用いられ、1 人が伝道者の妻として、また何人かは教会役員、教会学校教師として、また何よりも教会に連なる信徒として主にお仕えしています。

私たちは皆、罪人が罪の赦しの洗礼を受けて新しい命に生き始める「洗礼の奇跡」

福音に突き動かされて

私がまだ中学生だった頃、四国のある教会で、福音の力の激しい働きを経験しました。7 年余りの間に 63 人が洗礼を受け、その内の 36 人が 10 代・20 代の学生や若者でした。小さな町の駅前で、毎週日曜日の夕方、

1 時間に 1 本の汽車が到着するのを待つて、中高生 4 ～ 5 人の路傍伝道が 1 年半続けられました。道行く人に、何とかして福音を聞いて欲しいと若い魂は燃やされました。

この時期に洗礼を受けた

若者の中から、私を含む 6 人が今、伝道者として用いられ、1 人が伝道者の妻として、また何人かは教会役員、教会学校教師として、また何よりも教会に連なる信徒として主にお仕えしています。

私たちは皆、罪人が罪の赦しの洗礼を受けて新しい命に生き始める「洗礼の奇跡」

私たちは皆、罪人が罪の赦しの洗礼を受けて新しい命に生き始める「洗礼の奇跡」

信仰によって生きる

神は、主イエスを地上におくり、十字架に架けてまが、ただ神の約束によって生きる、という話です。自分で、約束への誠実を貫き通して下さいました。この神の力や知識、経験によってではなくて、ただ神の真実によって私たちは生きるのです。「正しい者は信仰によって生きる」というのは、神の真実につき動か

されて信仰を与えられた者が、ただ神の約束によって生きる、という話です。自分で、約束への誠実を貫き通して下さいました。この神の力や知識、経験によってではなくて、ただ神の真実によって私たちは生きるのです。

「神の真実」や「神の誠実」が、聖書の中で明らかにされています。



▼「鏡の前で祈ることは禁じられている……中略……目と神の御心に向

祈ることは禁じられている……中略……目と神の御心に向

台湾基督長老教会と日本基督教団との青年交流会

ユースミッション2010

赦しが無ければ、平和は訪れない

台湾の教会青年と共に過ごした14日間

今回のユースミッション（8月10日～23日）には日本から8人の青年が参加した。最初の4日間は台北に滞在し、開会礼拝、総会事務所訪問、青年活動紹介などを行った。

そして、二二八事件とその後の戒厳令下の生活について学んだ。3日目に国際日語教会の方々から体験談を伺った。最も印象に残ったのは、二二八事件で義父を失い、自分も危機一髪で逃れた老人が体験談を話し終えた後に、「でも今、台湾は平和だから、昔のこと

は教会公報社や長栄中学、台南神学院、長栄大学、烏脚病記念館等を見学した。特に、烏脚病記念館で知ったことだ。赦すことの凄さを感じた。

5日目からは阿里山の山奥で生活した。台風の再建記念礼拝では、苦難を経験しつつも明るく力強い賛美の歌声にパワーを感じた。楽野教会での日曜礼拝では日本語の単語が頻出していて、ツォウ族と日本との繋がりに不思議な感じがした。

8日目、阿里山から下山して台南へ向かう。台南で

は教会公報社や長栄中学、台南神学院、長栄大学、烏脚病記念館等を見学した。特に、烏脚病記念館で知ったことだ。赦すことの凄さを感じた。

11日目、再び台北に戻る。台湾に来て2回目の日曜日には白色テロの殺人現場を礼拝堂にしたという、義光た王金河先生の奉仕には感銘をうけた。どんな信仰も愛が無ければ無に等しい

「無償の奉仕ほど喜ばしいことは無い」、これらの王先生の言葉には強い神様への信仰が感じられた。

14日間、充実した素晴らしい日々を送ることができた。台湾基督長老教会の皆さんには言葉では言い表せない位感謝している。台湾の青年たちの熱心さから学ぶことは多くあった。日本にいても彼らのことを常に見習って、教会での奉仕や学校での勉強に励みたい。

（梅津静子報）
本多記念教会
二二八事件：1947年2月28日発端は27日夕刻台北に発生し、台湾全土に広がった本省人（台湾先住民）と外省人との抗争。当時の国民党政府軍による武力鎮圧から、本省人は大虐殺と呼ぶ。白色テロ（ル）：為政者による激しい民衆弾圧。

台湾教会青年の姿勢に圧倒された

特に印象に残ったことの1つ目は言葉です。台湾には多くの民族がおり、多くの言葉があります。その中でも北京語と台湾語は多くの人に話されています。

しかし阿里山の教会では、日本語で礼拝を行っているかと思ってしまうほど、多くの日本語が聞こえてきました。

分自身、台湾で起きた台風の被害をテレビで見ているも助けに行こうなどとは思わなかった「しかし今は違

という言葉でした。日本でも多くの災害ニュースを耳にします。そんな時でさえ、私は友達のために助けに行くと断言するこ

きであると改めて気づかされました。日本で自分ができることを考え実践していきたいと思っています。

このプログラムに参加して、はつきりと分かったのは、自分の骨格の中に台湾があることです。生まれも育ちも、日本であっても、台湾を思う気持ちを培ってきたい。日本人であり台湾人であることを誇りに思

い、あとはキリスト者として真摯に生き、神様の導きに委ねたいと思います。（吉永崇義／桐生東部教会）

自分の骨格の中に台湾がある

またそこで出会ったお年寄りの多くが日本語を理解し、使いこなしていました。日本語を使っている彼らの背後にはどんな思い出があるのか、考えさせられました。

2つ目は阿里山で見た台風の爪痕です。山道を登る車のすぐ横には崖崩れの跡があったり、大きな岩がゴロゴロと転がっていたり

と、日本では到底知り得ることはなかったであろう光景が広がっていました。

私の父母は台湾から日本に移住してきました。私自身は日本の生まれ育ちですが、幼い頃から台湾へよく遊びに行きました。その台湾で今回キリスト教を通して交わりを持つことができたことは、とても嬉しいことでした。何度も行ったことがある台湾なのに教会を訪れるのは初めてでした。

2週間の交流プログラムを通して台湾の青年について感じたことがいくつかあります。第一に、彼らの親切さです。いつも笑わせて

くれ、疑問に思ったことを質問すれば熱心に解説してくれました。同じ神を信じ、聖書を読むクリスチャンのことを台湾では「契友」と呼ぶそうです。神様と契りを交わした者同士、共に歩む友という意味で解釈できていることを知りました。

第二に、彼らは自分の国の将来を真剣に考えていることでした。いまだに民主国家になりきれない台湾を変えたいと願う青年に感心しました。ただこうした台湾を日本に暮らす多く



8月11日 開会礼拝の後に、PCT 総会事務所にて（台北）



18日 PCT 台南中会、UCCJ、PCC（カナダ長老教会）青年交流会



19日 カルチャーナイト（台南にて）

せられました。これからのような機会が続けられ、多くの兄弟姉妹が互いに交流する機会を持つことができることを願っています。（真壁栄歌／相愛教会）

時は陸の孤島となった。

普天間基地移設問題を 現地で学ぶ

第 6 回社会委員会



8 月 30 日、辺野古のキャンプ・シュワブで

第36総会期第6回社会委員会は、8月30日から31日までの2日間、沖縄の読谷教会で開催された。

1日目は、午前10時から釜土達雄委員による開会礼拝で始められ、続いて具志堅篤牧師及び芳澤弘和牧師



墓地の途中から、集合住宅と呉市を望む

残暑厳しい8月29～30日、恒例の西中国教区・部落解放現場研修会が、教会並びに呉市・山の手会館に

「教会に部落解放をⅪ」のテーマで 西中国教区・部落解放現場研修会

て、参加者47名で開催された。

29日は18時から社会館にて、小郡教会・金澤正善牧師による開会礼拝に続いて、

事業を推進する中で遭遇した様々な部落差別の実態、そしてその解放運動の生々しい話を心に深く聴かせていただいた。

講演会終了後に呉に移動

野犬処理場等が次々と谷間

の狭い地域に建てられ、その仕事を担う人々をそこに押し込めるようにして差別して来た歴史が、実際に現地を歩く事で、より身近な事として迫ってくる。戦後の解放運動により屠場などの施設が移転し、その跡地に建てられた集合住宅群の間を縫うように急な坂道が

く。今なお大量の「差別ヒラ」が撒かれる事件が起る。呉市の根深い差別構造がこの地区に凝縮されている事を実感する。呉平安教会・小林克哉牧師による閉会礼拝を守り、解放の道筋は長い差別は必ず終わる事を確信し、30日正午、全そのプログラムを終えた。

さないうようにと機嫌をとるという心性が垣間見られる。それは戦争に対する後ろめたさの表れであり、責任問題にはつきりと目を向けることなく、後ろめたさを、祀って慰めて「やる」という上からの目線により誤魔化しているに過ぎないということが改めて認識された。

「教会と国家」の関係をどのようにに理解してきたかを検証する。

(3) (1)(2)を踏まえて「靖国・天皇制問題」を教会の課題、信徒の課題としていくために委員会として協議しながら担当。

(4) 当委員会の担っている課題と検証の成果を、社会委員会を経て教団に提言、各個教会に発信する。

靖国神社の成立史等を学ぶ

第5回靖国・天皇制問題小委員会

第36回総会期第5回靖国・天皇制問題小委員会が、

2010年9月6日(月)7日(火)、日本キリスト教会館4階会議室で開催された。芳澤信委員による開

行われた。委員1日目において、栗原清委員による発題「靖国神社について」がなされ、委員による質疑応答がなされた。靖国神社の成立史、またどのように神社の管理

運営が行われているのか、祭儀は具体的にどのようなものが行われているのかなどを共に学んだ。そこではあらためて、靖国神社で祀られている「英霊／神」は信仰の対象ではないことが

確認された。信仰の対象とは、神であれ仏であれ相手に自己を託し、祈願する対象である。しかし靖国神社の場合、そこでは逆に人間が神(とされた対象)を慰め、神が怒って祟りを起

確認された。信仰の対象とは、神であれ仏であれ相手に自己を託し、祈願する対象である。しかし靖国神社の場合、そこでは逆に人間が神(とされた対象)を慰め、神が怒って祟りを起

確認された。信仰の対象とは、神であれ仏であれ相手に自己を託し、祈願する対象である。しかし靖国神社の場合、そこでは逆に人間が神(とされた対象)を慰め、神が怒って祟りを起

確認された。信仰の対象とは、神であれ仏であれ相手に自己を託し、祈願する対象である。しかし靖国神社の場合、そこでは逆に人間が神(とされた対象)を慰め、神が怒って祟りを起

協議会開催の準備を重ねる

第6回三国間協議会実行委員会

第36総会期第8回スイス・韓国・スイス三国間協議会(合同)委員会が、第6回三国間協議会実行委員会として、2010年7月6日に教団会議室で開催された。

以前から報告しているように、本実行委員会は、2011年7月5日(火)8日(金)、都内のYMCAアジア青年センターを会場に、平和の絆一つの体、一つの霊、一つの希望(エフエヌ4・3・4)東アジアの平和のための私たちの責任とヴィジョン」の総合主題のもとで、「第3回

日本・韓国・スイス三国間協議会を開催することを旨として協議を続けている。英文による趣意書はすでに関係諸教会に発送済みであり、返答をまっている段階である。

加藤誠幹事は、6月に開催された西南ドイツ宣教会(EMS)宣教協議会にも出席したが、韓国三教会およびミッション21(フリス)のほとんどの幹事が欠席したため、予定していた三国間協議会のための事前打合せは空振りになった。私たちは遠からぬ時期に

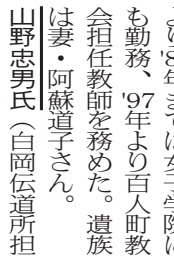
事態が通常化することを願うと同時に、三国間協議会の成功を期して予定通りに準備を進めることを確認した。

協議事項としては、すでに大枠が決まっている協議会日程の中で、日本側が担当するワーキンググループの具体的な主題について協議し、「憲法九条」「女性の権利」そして「教団戦責告白」の3つを候補とすることにした。発題者の人選および打診はこれから行う。プログラム内容以外には、費用についての検討と並ん



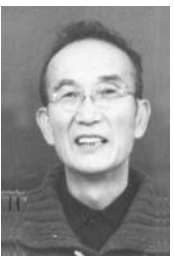
任教師

10年8月16日、逝去。66歳。山口県に生まれる。'74年東京神学大学院修了。'77年山口教会に赴任、埼玉和光教会、湯沢教会、福島荒井教会、日野原記念上尾栄光教会を経て、08年より白岡伝道所を牧会した。遺族は妻・山野裕子牧師。



任教師

10年7月31日、逝去。69歳。清津府(朝鮮)に生まれる。'68年青山学院大学院神学科を修了後弘前学院に赴任、'75年より'96年まで大久保集会(後の百人町教会)主任担任教師を務め、'76年より'81年までは女子学院にも勤務、'97年より百人町教会担任教師を務めた。遺族は妻・阿蘇道子さん。



任教師

阿蘇敏文氏(百人町教会担任教師)

消息

阿蘇敏文氏(百人町教会担任教師)

で、各教区への参加アピール文書の文案および発送時期について検討し、いくつかのことを決定した。

今後は、関係諸教会とのより緊密な折衝と、主催者側の積極的な働きかけが重要になるだろう。

(廣石望報)



下：麻布十番にある
「赤い靴」の像
左：カートメル女史



♪赤い靴

作詞：野口雨情 作曲：本居長世

- (1)赤い靴 はいてた 女の子 異人さんに つれられて 行っちゃった
(2)横浜の 埠頭 (はとば) から 船に乗って 異人さんにつれられて 行っちゃった

この童謡のモデル佐野きみちゃんは、1908 年（明治 41 年）東京の港区麻布に設立された『永坂孤女院』に預けられていた孤児でした。当時のきみちゃんを引き取って育ててくれる篤志家はいませんでした。そこで宣教師が本国に引き上げる際に里親となって、少女を連れていくことにしたのです。童謡の歌詞には『異人さんにつれられ

宣教師からの声

番外編

カナダメソジスト教会の情熱的な伝道姿勢に学ぶ －明治時代の女子教育と貧民救済－

阿久沢 紀雄

(東洋英和女学院元教頭・KNL編集委員)

て行っちゃった』となっているのですが、実はきみちゃんは外国に行く前に病気のため天に召されてしまったのです。一人の少女の薄幸の生涯を知った作詞家の野口雨情が、アレンジし直して、今は外国に行き、幸せに暮らしているに違いないと歌詞を続けたのです。

この『永坂孤女院』こそカナダメソジスト教会から派遣された女性宣教師 I.S. ブラックモア（東洋英和女学院 3 代目校長）が設立したのです。しかも、孤女院で具体的に保育にあたった女学生たちは、孤女院の近くにある東洋英和女学院のクリスチャンたちでした。

彼女たちは YWCA の前身の王女会のメンバーで、学院の標語『敬神と奉仕』を実践した心優しい生徒達でした。

王女会会員はさらに麻布地域の貧困児童のための教育機関として『恵風学校』を設立してキリスト教の伝道と教育の奉仕に励んでいきました。仏教や儒教中心の日本社会にあって、キリスト教の奉仕活動は困難を窮めたと想像するのですが、女学生たちは確固たる信仰をカナダの宣教師によって育てられていたのです。

こうした社会の弱者への福祉活動の活動資金は王女会会員の献金では十分でなく、カナダ本国の多くの信者の厚い祈りと尊い献金が捧げられたことも忘れることはできません。

1873 年カナダメソジスト教会は教職 682 名、信徒数 70,684 名でしたので、決して大きな教団ではありません。国内伝道のみならず外国にも宣教師を

送り出す情熱的な伝道姿勢に日本のキリスト者は学ばなくてはなりません。

カックランと医師でもあるマクドナルドの 2 名の宣教師は 1873 年に来日し、東京・静岡・甲府を中心に伝道を展開していきました。当時の日本の女性が教育を受ける機会に恵まれないと分析し、教育を通じて宣教していくべき寄宿学校作りに力を注ぎ、カナダで公立の女学校の校長ミスカートメルを 1882 年（明治 15 年）最初の女性宣教師として派遣。1884 年東洋英和女学院を設立させ、初代校長に就任させました。

さらに女性宣教師を次々と派遣し静岡英和や山梨英和のミッションスクールを開校していきました。派遣されてきた宣教師の信仰の厚さや能力も関係していると思うのですが、日本の伝道において大きな力強い歩みが可能であったのは、生きた主なる神様の祝福と導きのもと、メソジスト教会の綿密な使命感に満ちた計画が、そして宣教活動を支える教会員の情熱的な祈りがベースにあったからだと思うのです。

日本宣教 150 周年を迎えた私たち日本の教会は、カナダメソジスト教会の確固たる信仰と、日本での宣教活動が、教育と社会福祉という二本柱を通じて力強く実践されたことを学びかつ継承していくべきであると痛感させられているのです。

－Kyodan Newsletterより－

教師検定試験公告

2011 年春季教師検定試験を左記の要領で行います。

一、受験要綱と願書用紙の申し込み

受験要綱と教団指定の願書用紙は 160 円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師（A、B、C コースの別も）受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。

なお、正教師受験志願者は「教師検定規則第 12 条②」によるものに限ります。

二、受験願書の提出

受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。

①教区締切 2010 年 11 月 15 日（月）

（教区により締切が異なりますので、教区事務所に確認してください）

②教団締切 2010 年 12 月 6 日（月）

（各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です）

＊受験料は正教師 1 万 3 千円、補教師 1 万円

三、補教師について

①「説教」「釈義」の課題テキスト

旧約 詩編 146 編 1～10 節

新約 使徒言行録 16 章 6～10 節

②コースによって「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱で確認下さい。

③補教師（CⅢコース）の牧会学の課題

『牧会とは何か』について論述してください。

四、正教師について

受験志願者は、直接教師検定委員会までお問い合わせください。

五、提出物（説教、釈義、牧会学）締切について

当委員会への提出締切日は、2010 年 12 月 13 日（月）必着です。

六、学科試験と面接について

学科試験は 2011 年 3 月 1 日（火）、面接は 3 月 2 日（水）、3 月 3 日（木）に東京・日本キリスト教会館ビル内（教団会議室）にて実施します。詳細は受験志願者に通知いたします。不明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。

2010 年 10 月 1 日

日本基督教団教師検定委員会

〒169-0005 1

東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

電話（03）3202-0054 6

公 告

北村慈郎教師に対する戒規（免職）の決定について

2010 年 1 月 26 日付で教師委員会が決定した北村慈郎教師の戒規処分について、同教師は 2010 年 2 月 12 日、教団総会議長に上告し、教団総会議長は戒規施行細則 6 条にもとづき、常議員会の議を経て審判委員を選出し、審判をさせました。これを受けて審判委員会は、2010 年 9 月 15 日に下記の通り決定しました。これにより、同日付で北村慈郎教師の免職が確定しました。

北村慈郎教師がこの決定を受けとめ、悔い改めをもって復帰の道（戒規施行細則 8 条）へ進まれることを願うものです。

2010 年 9 月 17 日

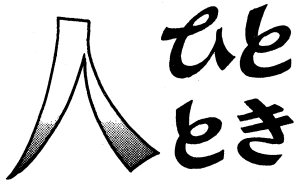
日本基督教団総会議長
山北宣久

北村慈郎氏の上告について

「北村慈郎氏が未受洗者への配餐を続けていることは教規第 135 条、第 136 条、第 138 条の違反行為であり、同規定は教憲第 10 条と一体の関係にあり、教憲を補完する基本条項である。従って、未受洗者への配餐は教憲第 1 条に違反し、本教団の秩序を著しく乱す行為である。北村上告人の上告理由はいずれも教憲、教規にてらして上告理由になりえず、教師委員会の戒規適用免職は教憲・教規並びに戒規施行細則に基づき適正と認める。」

2010 年 9 月 15 日

日本基督教団審判委員会
委員長 石橋秀雄



黒田 毅さん

主の山に備えあり



1960 年生まれ。50 歳。更新伝道会常任委員。武蔵豊岡教会員。

武蔵豊岡教会の歴史は一人の青年が東京で勉学中にキリスト教に触れ、築地美以教会で受洗し、郷里（家族）伝道を志したことに端を発する。青年の名は石川和助、黒田さんの母方の曾祖父の弟にあたる。当初入信に猛反対であった和助の父金石衛門が、不思議なことに主に捕えられ、後にドレーバル宣教師（米国メソジスト監督教会）より豊岡の地で受洗。121 年前のことである。此の地に於て初穂の献げられた日なるを以て、教会の創立記念日と定む（日本メソジスト豊岡教会略史）。

金石衛門から数えるとう代目のキリスト者である。物心がついた時にはすでに教会に通っていた。教会付属の「恵幼稚園」で地域 600 世帯の自治会長

から教会学校、青年会、教会学校教師、教会役員と、「お決まりのコース」の中で育てられて来たが、人生の道のりは決して平坦ではなかった。大学卒業後継いだ家業は倒産。紆余曲折を経て 28 歳の時にかねてより望んでいた旅行業界へ。ハンガリーを中心とした中・東欧諸国を得意地域とする。ルーニアでは、現地ガイドが修道院の壁絵の説明に苦慮したとき、とっさに代わって聖書の話をした。この時何故か金石衛門のことを思い出し、捕えさせた主に感謝を捧げた。

2009 年、今度はくじ引きで地域 600 世帯の自治会長に。に。他にも公民館運営委員長、小学校の学校評議員なども引き受けることになり、本業そっちのけで地域のご用に奮闘する毎日。一人でも多くの方に教会を知ってもらえればと、歴史講座では教会の歴史と、大正期に建てられたヴォーリス建築である現会堂の案内役も担う。今、特に力を入れていることは、家庭、学校だけでなく「地域も子どもたちを育てる！」ということ。「この家族は全てが主によって備えられている」とは、青年時代に牧会された長山恒夫牧師の言葉である。まさに、我が歩みを振り返り「主の山に備えあり」の一言に尽きるのである。